

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

266号 マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群とは

2回シリーズの2回目



漢方の健康堂薬局の店主 長澤昭と申します。

3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

265号 2回シリーズの1回目（3月15日発行）

1. 重症熱性血小板減少症候群とは
2. SFTSウイルスとその感染経路

短編（科学のよもやま話）第180号（3月22日発行）

マダニによって媒介される他の感染症

266号 2回シリーズの2回目（今週号）

3. 潜伏期間と症状
4. 予防法



266号 マグネシウム摂取不足に注意！ マグネシウム不足と糖尿病の関係

3. 潜伏期間と症状
4. 予防法

2回シリーズの2回目

3. 潜伏期間と症状

潜伏期間は、（マダニに咬まれてから）6日～2週間程度です。

症状は、原因不明の発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が中心です。時に頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑、下血）を起こします。

血液検査では、血小板減少（10万/mm³未満）、白血球減少、血清電解質異常（低Na血症、低Ca血症）、尿検査異常（タンパク尿、血尿）などが見られます。

4. 予防法

マダニに咬まれないようにすることが重要です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意しましょう。春のハイキングなど屋外へ行く場合には、・・・

（1）草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖のシャツや長ズボンなどを着用して、マダニに咬まれないように気をつける。

（2）衣類についてマダニは、長袖シャツの袖口などから侵入することがあります。シャツやズボンの袖口をゴムバンドなどで塞ぐと良い。マダニが、皮膚の表面を這っていても、気付く人は少ないようです。

また、刺咬の時も痛みがほとんどないので、知らずに血を吸われていることがあります。

(3) マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から、長いもので10日間）吸血します。屋外ではお互いに衣類にマダニがついていないか、こまめに確認することが重要です。ただし、吸血しているマダニを無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、吸血中のマダニに気が付いた際は、できるだけ病院で処置してもらおう。SFTSウイルスはアルコール消毒に弱いですが、咬み傷を消毒しても、ウイルスがすでに体内に入っていると効果はありません。

以上、今週の内容でした。

—[プロフィール]—————[プロフィール]—

■長澤 昭（ながさわ あきら）1952年 静岡県生まれ

1980年に薬局を創業。

2000年、毎日新聞「アミューズ」に、「漢方薬に詳しい薬局」として、全国わずか35店のうちの1店として取り上げられる。

2001年、約300の病名・症状別の「病気別漢方選薬システム」を完成させる。

現在は、当店HPにて公開中

登録／解除の方法

↓ ↓ ↓

<http://kenkodo.web.infoseek.co.jp/melmaga.html>

（E-Magazine からご購入の方はこのメルマガの一番下に解除フォーム有り）

注意・免責事項

◎一般の方向けの内容なので、厳密な医学用語は使用していません。医学

的な専門性から考えた場合、妥当でない表現があると思いますが、なるべく平易な表現を使用するようにしてあります。

◎個別の健康相談を行うものではありません。

◎体の状態は個人によって異なっています。現在治療中の方はかかりつけの主治医と相談をしてください。

◎ご自分の責任の範囲でご利用ください。記載内容を利用し生じた結果について、当方では責任がとれませんのでご了承ください。

=====

薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報

発行者：漢方の健康堂薬局

発行責任者：長澤昭

<http://www3.ocn.ne.jp/~kenkodo/>

E-mail: <mailto:kenkodo@oregano.ocn.ne.jp>

「薬剤師だから知っている。3分間の薬と健康の裏情報」の本文は、著作権により保護されています。

ただ、個人的にお友達に転送することは自由です。その場合、このメルマガの一部だけを転送するのではなくて、全文を転送していただけると、うれしいです。よろしければ、お知り合いの知人、友人に教えてあげてくださいね（商用の場合を除く）。

転載の場合はご一報ください。

=====